

# 緑のカーテンを育てよう 育成マニュアル



足立区 都市建設部  
みどりと公園推進室 みどり推進課

令和3年3月改定

# 1 緑のカーテンってなあに？

緑のカーテンとは、「アサガオ」や「ゴーヤ」、「フウセンカズラ」などのつる性植物をカーテンの様に広げて生長させて、日除けとなるように育てたものです。

夏の強い日差しをやわらげるとともに、葉から出る水蒸気で、日が当たる面の裏側部の温度の上昇を抑え、「ヒートアイランド対策」や「省エネ」にもつながります。

その他の効果として、「緑による癒し」や「収穫の楽しみ」など、様々あります。



# 2 植える時期と設置場所は？

(例) ゴーヤ

4月中旬～5月上旬

種まき（室内。発芽条件として地温が約30℃程度必要）  
※屋外で、種を直播き等する場合は、5月中旬以降が望ましい。

5月上旬～6月中旬

苗の植え付け ・ ネット張り

7月中旬～9月中旬

収穫

※建物の壁沿いに設置する場合は北側を避け、日当たりの良い南側の窓の外に設置しましょう。

# 3 用意するもの（ホームセンターや園芸店で購入可能）

- 種または苗
- 土・肥料
- ネット
- 支柱など
- プランター

はじめての方は、苗の植え付けから始める方が簡単です。  
市販の培養土を使用する場合、肥料のやり過ぎに気を付けましょう。  
材質はナイロン製などで、網目が10cm角位のものが適当です。  
ネットを張る時に、ネットを固定するものが無い場合に使用します。  
30～50リットル位の大きさが、お勧めです（※重くなるので）。  
ただし、ゴーヤなど根が広く伸びるもの場合は、深型のものが望ましいので、70リットル以上の大きさがお勧めです。

（※地植えできる場所があれば、プランターは必要ありません。）

- スコップ
- ジョウロ

「移植ゴテ」でも良いです。  
水やりをする時に使用します。

それでは緑のカーテンを作ってみよう！



## 4 ゴーヤの育て方（※プランターの場合）

### ～苗から育てる場合（1/2）～

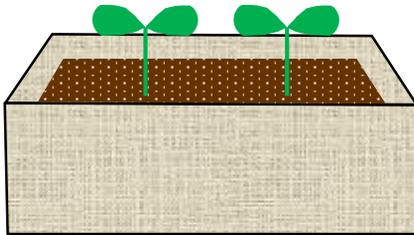
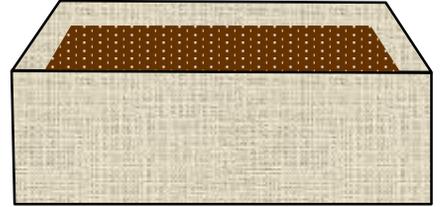
#### 1. 土づくり（4月頃）

プランターの底に鉢底石などを敷いて水はけを良くし、その上に培養土を入れます。

はじめての方は、市販の培養土（野菜用）が便利です。

※プランター内の土は毎年入れ替えるか、プランターから土を出して根やゴミなどを取り除き、肥料を混ぜて再使用します。

詳しくは、5ページを参照してください。



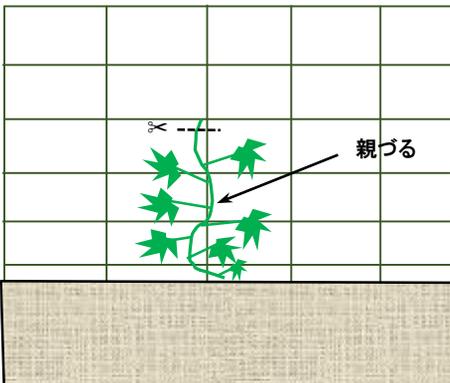
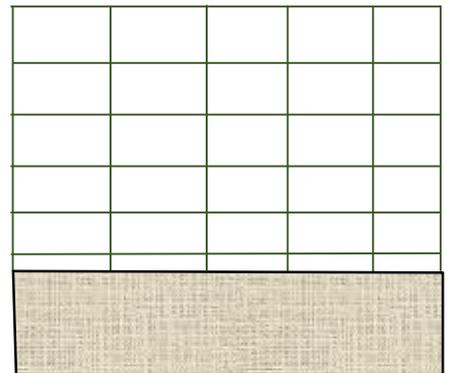
#### 2. 植え付け（5月）

プランターに、苗を植え付けます（※苗と苗の間を、30～50cm位あける）。

※ゴーヤは、根や枝葉が大きく伸びるので、容量の大きいプランターに植えましょう。また、苗が小さいうちは、晴れた日の朝に、プランターの底から水が流れ出るくらい、たっぷり水をあげましょう。土の表面に藁などを敷くと、乾燥防止になります。

#### 3. ネット張り（5月）

つるが伸びる前にネットを張ります。ネットを固定するものが無い場合は、支柱を立てて、ネットを張ります。



#### 4. つるの摘心と誘引（6月～7月）

つるをバランス良く広げるため、親づるに本葉が7、8枚出そろったら、親づるの先端を切り取ります（摘心）。

親づるから子づるが伸びてくるので、つるが横に広がるようネットに結び付けます（誘引）。

## ～苗から育てる場合（2/2）～

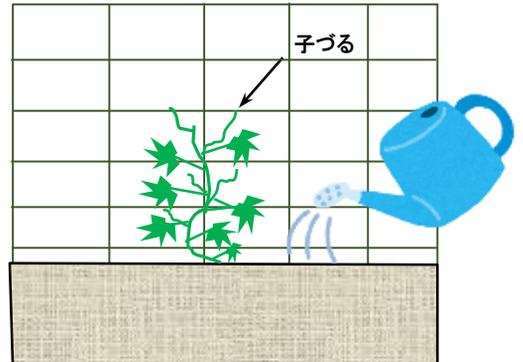
### 5. 水やり・追肥（5月～9月）

毎日、朝か夕方に水をたっぷりあげましょう（※日中は、水も熱くなっていることがあるので、注意）。

特に梅雨明け後は、水が足りないと葉が縮れてしまうので、そうならない様に気を付けてください。

また、水をきちんとあげているのに、葉が黄色くなったら肥料不足が考えられます。

植え付け約1カ月後から、生育具合を見て、必要なら2週間おき位に、追肥を行いましょう（※やり過ぎには、注意）。



### 6. 開花・収穫

夏、ネットいっぱいにつるが広がり、葉が茂ってくれば「緑のカーテン」の完成（※葉がいっぱいになってきたら、適度に摘んで風通しを良くします）。

苗を植え付けてから、2カ月位で花が咲き始めますが、最初は雄花ばかりが目につきます。つる先を摘心することで、子づる、孫づるが増え、そのつるに雌花が付きやすいため、ようやく実もなり始めます。

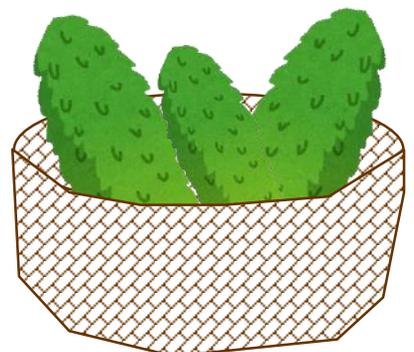
なお、プランター栽培では、実があまり大きくなりないので、黄色くなる前に収穫しましょう。



### 7. 片付け

花や実を楽しんだ後は、種の収穫にも挑戦してみましょう。熟して、黄色からオレンジ色になった実からは、種が取れます。種は、陰干しして乾燥させたら密封容器などに入れて冷蔵庫などで保管し、翌年、蒔いてみましょう。

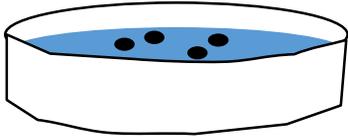
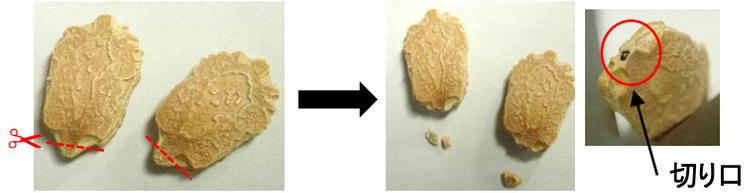
秋になって枯れ始めたら、つるをネットから外し、片付けです。



# ～種から育てる場合～

## 1. 種まきの準備①

種のとがった先を爪切り等で切ります。  
種の先を切ると水を含みやすくなります。



## 2. 種まきの準備②

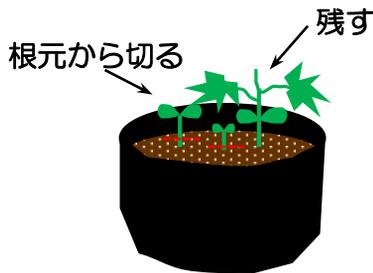
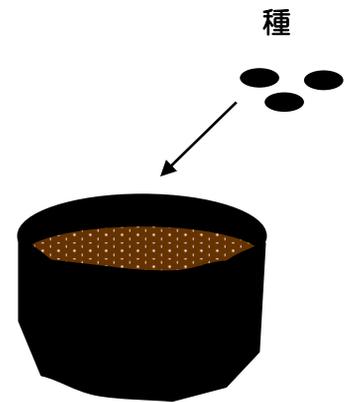
切った種を一晩水につけ、発芽しやすくします（※水に浮かぶ種は、発芽に適しません。また、種の中まで十分に吸水させないと発芽しない場合があります）。

## 3. ポリポット（直径10cm位）に種まき

市販の培養土を入れたポットに種を2～3粒まき、土を1cm位かぶせて、水やりをします。土の表面が乾かないよう、こまめに水をあげましょう。発芽の条件が良ければ、2週間位で発芽します（※水をあげすぎると、種が腐ることもあります）。

### ポイント：【発芽条件】

ゴーヤの種は、地温が30℃程度無いと発芽しないので、屋外で種を発芽させるためには、5月中旬以降が望ましいでしょう。もしくは、保温をして発芽させましょう。また、明るいと発芽しにくいので、水やりなどで種が表面に出てしまったら、再度、種の上に土をかぶせましょう。

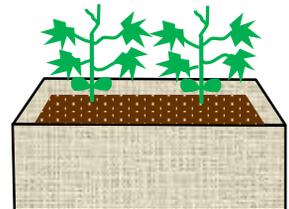


## 4. 間引き

本葉が2～3枚になったら育ちの良いものを1本残して、残りは根元から切り取ります（※切らずに、抜き取ってしまうと、残した苗の根っこを傷めることがあるので、注意）。

## 5. 植え付け

本葉が4～5枚になったらプランターに植え付けます。  
植え付けたら、たっぷり水をあげましょう。



その後は、2ページの「苗から育てる場合」の3からと同じ手順です。



はじめての方は、市販の苗を買って始めよう！  
失敗しにくいよ！

## ゴーヤの育て方 質問コーナー

### 【質問】 昨年と同じ土を再利用するには、どうしたら良いの？

【答】 使用後の土は、窒素(N)・リン酸(P)・カリ(K)等の肥料分のバランスが悪くなっていたり、害虫がいたり病気の発生源となることがあるため、そのまま使うのではなく、次のような手を加える必要があります。

#### 【プランターの場合】

土を粗めのふるいに掛け、根やゴミなどを取り除きます。害虫の駆除や病原菌の殺菌のため、ふるいに掛けた土を黒いビニール袋に入れ、水を少しかけ密封し日なたに出します。

適度に裏返ししながら、数日間直射日光に当て、十分に熱が回れば熱消毒の完了です。

その後、肥料を入れて寝かせておきます。施肥後すぐ土を使うと、肥料の発酵熱などで根が傷んでしまうので、2週間程度置いてから使いましょう。

#### 【地植えの場合】

土を十分な深さまで掘り起こし、ほぐします。その後、きれいに敷き均<sup>なら</sup>しておきます。

### 【質問】 連作障害にならないようにするには、どうしたら良いの？

【答】 同じ土を使って、同じ植物を続けて栽培すると、良く育たないことがあります。また、同じ科のものを続けて栽培する場合でも、同様なことがあります。これを連作障害と言います。ゴーヤやキュウリなどのウリ科のものは、連作障害を起こしやすいので、土を入れ替えるか、3年程は、ウリ科以外の植物で緑のカーテンを作ると良いでしょう。その後、再びゴーヤにチャレンジ！！

### 【質問】 容量の大きいプランターは、どのくらい水をあげれば良いの？

【答】 土の表面が湿る程度では、土の中まで水が届いていません。また、新しい空気も入りません。プランターの底から水が流れ出る位まで、たっぷりとあげましょう。

特に、夏場は水分が無くなりやすいので、気を付けましょう。

### 【質問】 葉が黄色くなったり、茂らないのは、どうして？

【答】 日照不足、肥料不足、土の量不足(プランターが小さい)の可能性がありますが。

#### 【日照不足】が考えられる場合

日当たりの良い場所に移動しましょう。

#### 【肥料不足】が考えられる場合

追肥するか、もしくはつぼみや花、小さい実をところどころ摘んで、栄養を葉に行き渡らせるのも良いでしょう。あまり早期から実をならしてしまうと、つるや葉が広がらないので、緑のカーテンができるまでは、つぼみや花、小さい実を摘み取る様にしましょう。

#### 【土の量不足(プランターが小さい)】が考えられる場合

ゴーヤは根を広く伸ばす性質のため、植えているプランターが小さいと、しっかりと根が張れず大きく生長することができません。プランターを深型で大きなものに替え、土の量を増やしましょう。また、大きなプランターを設置できない場合は、ゴーヤを諦め、根があまり伸びない植物で緑のカーテンを育ててみましょう。

### 【質問】花は咲くのに、実が付かないのは、どうして？

【答】 つるを伸ばす生育当初は、雄花が多く咲くため実が付きません。摘心・芽摘みをし、子づるや孫づるを増やしていくと雌花が付き始めるので、実がなるようになります。

また、人工的に受粉作業をすることで実の付きが良くなります。午前中に雄花の花粉を採取し、雌花のめしべ先端にまんべんなく付けましょう。雄花の花粉と雌花のめしべがしっかりと受粉し、実が大きくなります（※雌花は、つけ根(花柄)が小さなゴーヤのような形状になっています）。

### 【質問】実が小さいまま黄色くってしまうのは、どうして？

【答】 栄養不足が考えられる場合は、肥料の追加が必要です。

もしくは、猛暑などにより根が弱っている場合もあります。その場合は、地温が上がり過ぎないようにするため、土の上に落ち葉等を敷きならし、直接、日が地面に当たらないようにしましょう。

